

就任のご挨拶



教育長

今宿綾子

このたび、豊かな歴史と伝統にはぐくまれた日野町の教育長という重責をお預かりすることになり、身の引き締まる思いがしております。もとよりそのような器ではございませんが、学校教育・社会教育の関係者の方々や関係機関・各種団体の方々のご協力、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます、誠心誠意努力する決意でございます。

日野町には今日まで、大切に築きあげてこられた教育がございます。この先輩諸氏が築いてくださったよき伝統、誇れる「日野の教育」をさらに継続させ、その発展のために、またよりよい環境づくりのために微力ではございますが努めてまいりたいと思います。

また教育委員会制度改革をはじめ、道徳の教科化、小学校の英語教育の在り方等、急ピッチで進められている教育改革の流れにどう対応していくのか、具体的な取組を行うと共に、適切な説明責任を果たしていくことが求められており、教育行政の果たす役割もますます重要になってくると思われまます。

地域の方々との関わりを教育行政活性化の切り口としながら、地域素材の教材化や多くの人や物との本物の出会いを通して、日野町らしい、日野町ならではの特色ある教育に取り組んでまいります。今後とも皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

これまで降っていた春雨がすつとやみ、雲間に青空が広がる4月15日、日野消防署新庁舎竣工式典が行われ、テープカットをしました。玄関を入るとガラス

の壁面に綿向山、シヤクナゲ、曳山が描かれています。ホールには野辺晃一さんがつくられた綺麗なホイ幟が吊り下げられています。ホイ幟は、町内で行われる祭で奉納されます。祭は、民衆の力の象徴、五穀豊穡と地域安泰の願いが込められています。地域安泰に大きな役割を果たす要に防災活動があります。日野消防署庁舎は、昭和37年、当時の役場敷地に日野町消防本部として設置され、昭和47年に中部地域消防組合が発足した後、昭和49年にこれまでの庁舎が建設されました。新庁舎は、敷地面積、建物面積ともこれまでの約2倍の広さになりました。新庁舎竣工を契機に、役場、消防署、消防団、地域がさらに連携し防災活動の強化に取り組みたいと思えます。新庁舎は見学できませんので

非お越しく下さい。

さて、防災といえば注目されているのが原子力防災。同日の新聞に「高浜原発再稼働認めず」が一面トップに掲げられました。福井地裁は、原子力規制委員会の「新規制基準は、緩やか過ぎ、これに適合しても本件原発の安全性は確保されない。債権者（周辺住民）らが人格権を侵害される具体的危険性の存在が認められる」として「再稼働差し止め」の仮処分を決定しました。昨年5月にも大飯原発の運転差し止めの判断がされています。その判決では、「電気代の高い低いの問題等と多数の人の存在そのものに関わる権利を並べて論じるものではない」とし、豊かな国土と国民の生活こそ国富であるとしています。

ずいぶん便利な時代になりましたが、それと引き換えになくなったものもあります。綿向山から五月の爽やかな風が吹いてきます。田圃には水が入り田植えが始まります。この町には豊かな自然があり、人々の営みがいきづいています。この町のすべてを大切にしたいと思います。